

金四拾八回六五錢四厘完前二名、估與候各此段上申
候也

明治十二年六月七日 刑部是官黑田清隆

太政大臣三條實美殿

長官此

勸業課

三奉出仕

外奉係

書記官

記簿課

會計課

雇外國人宿代并旅費規則市更正
分本廳より相廻り申付相廻り申付申
相成り出致せ殿相廻り也

十二年六月三日

乙卯六十九号

雇外国人宿代并旅費

規則更正之儀上申

当使雇外国人宿代并旅費規則之儀
客歲十一月第貳拾五号ヲ以テ上申
候処集條尚列紙ノ通更正本年四月十五
日ヨリ施行候條此段上申候也

明治十二年六月九日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

第九號

本 支 廳

東京出張所

明治十一年十一月第貳拾五號達雇外國人宿代并旅費規則別紙之通更正本年七月一日ヨリ施行候條此旨相達候事

明治十二年六月十九日

開拓長官黒田清隆

日本開拓使御雇外國人ニ給スル宿代并運送
及旅費規則

第一條

常住ノ地定リタル者ニシテ家屋貸與ノ約アリテ開拓
使ノ都合ニ因リ之ヲ貸與セザル間ハ別表ノ如ク宿代
ヲ給スベシ
但一ヶ月ニ滿ガル端日数宿代ハ金額三十分一ヲ現
日數ニ應ジ支給スベシ又第五條ニ掲ケタル受持區
内ノ日當ヲ給スル間ハ本條ノ宿代ハ給セザル者ト
ス

第二條

分務ニ付陸路旅行野業或ハ測量ノ節ハ諸費任拂ノ為

一日ノ行程十里ト定メ日數ニ應シ別表ノ如ク陸路
旅行日當ヲ給スベシ尤一泊以上ヲ要スル旅行ニ非ラ
ザレバ本條ノ日當ハ給セスト雖往返里數六里ヲ起
スルハ第五條ニ據リ受持區内ノ日當ヲ給スベシ
但本文日數ヲ計算スルハ現ニ費消シタル日數ニ掲
ハラズ里程十里ヲ以テ一日ト定メ計算ス十里以內
ノ端里數ハ一里毎ニ十分ノ一ヲ以テ給ス一里未滿
ハ計算セズ

第三條

公務ニ付陸路旅行中其筋ノ命ニ因リ滞在スルキハ日
數ニ應シ第六條巡回日當ノ半額ヲ給スベシ若シ病氣
ニテ滞在中スルキハ醫師ノ診断書雪支川支等ニテ滞在
スルキハ其地區戸長ノ証書アラバ亦本文ノ通支給ス

ハシ

但最初本國ヨリ来着ノ時東京滞在中ハ此時ニ限り
現費ヲ支給スル者トス尤一日ニ付三円ヲ踰ユベカ
ラス

第四條

東京横濱ノ間ヲ鐵道ニテ旅行スルキハ別表ノ如ク旅
費ヲ給シ滞在中ハ日數ニ應シ第六條巡回日當ノ半額
ヲ給スベシ
但一日間ニ往來シ又ハ二日ニ往來スルハ日數ニ應
シ別ニ巡回日當ノ半額ヲ給スベシ

第五條

工術師其他受持ノ區内ニアリテ野業或ハ測量ニ従事
スル間ハ第一條ノ宿代第二條ノ旅費ヲ給セズ一切ノ

費用トシテ別表ノ如ク受持區内日當ヲ給スベシ尤該
區内ノ甲所ヨリ乙所ニ移ル時為公務ニ運送人足ヲ要ス
ル節ハ第八條人足賃ノ四分ノ三ヲ給スベシ

第六條

工術師其他受持ノ區ヲ定メズ測量ニ從事シ其他公務
ニ付巡回スルキハ里程ニ拘ハラズ日數ニ應シ別表ノ
如ク巡回日當ヲ給スベシ

但人足賃ハ第八條ニ掲クル如ク之ヲ給スベシ

第七條

公務ニ付海路旅行ノ節ハ別表ニ照準シ船切手ヲ與ヘ
別ニ運送賃解賃其他諸雜費トシテ航海中日數ニ應シ
第二條陸路旅行日當ノ半額ヲ給スベシ尤一日ニ滿サ
ル航海ニシテ陸路第二條ノ旅費ト跨ルキハ多キ方ヲ以

テ第二條陸路一日分ノ日當ヲ給スベシ

但乗船又ハ上陸ノ際荷物ノ積卸時日ノ待合不得已
事故アリテ滞在スル片日數十五日以内ハ第六條巡
回日當ノ半額ヲ給シ以外ハ第一條宿代ヲ給スベシ
但宿代ヲ給スル日數初月或ハ翌月ニ涉ル端日數ハ
第一條但書ノ算計ニ同シ

第八條

公務ニ付陸路旅行ノ節自用ノ旅具家具食料等運送ノ
為ノ別表ノ如ク人足賃ヲ給スベシ尤表面ニ掲クル件
量ヨリ以上ノ運送賃ハ勿論自費タリト雖モ其職務ニ
屬スル測量器械其他右ニ類スル物品私所有ノ運送費
ハ別ニ官費ヲ以仕拂フベシ

但驛遞所在ノ土地ハ里程ニ應シ定メ賃金ヲ以テシ

驛運所無之地方ニ於テハ現雇賃ヲ以テ算出スベシ

第九條

前條ニ掲クル宿代及旅費日當等ハ總テ日本通用紙幣
 ヲ以テ拂渡スベシ

但別表中月給何円ト記載スル者ハ金銀貨紙幣ノ別
 ナク唯其月給金額ニ依ルモノトス

第十條

若シ過分ニ拂渡シ或ハ違算等ヲ發見スル時ハ其金高
 ハ以後給與スベキ月給又ハ旅費宿代等ノ金額中ヨリ
 引去リ或ハ更ニ返納セシムハシ

第十一條

此規則ハ更正等ノ事ナキ間ハ不斷實施スルモノトス

雇外國人宿代并旅費表

月給高	宿代	陸路日當	受持区内 巡回日當	受持区外 巡回日當	乗船等級	手荷物運送 人足	東京横濱間 往復旅費
金貳百圓未満	拾五圓	貳圓五拾錢	壹圓五拾錢	貳圓	中 等	六人 四拾貳ノ目 三百五拾錢	七拾五錢
金貳百圓以上	三拾圓	三圓五拾錢	貳圓	貳圓五拾錢	上 等	七人 七拾ノ目 五百八拾錢	壹圓
金四百圓以上	四拾五圓	五圓	三圓	三圓五拾錢	上 等	拾人 八拾ノ目 七百拾錢	壹圓五拾錢

乙第七拾号

十年六月廿

長官

京下号原洞

書記官 記名簿

北海道移住者渡航手帳但書追加ノ義上申

本年乙第七拾九号ヲ以テ上申候北海道送籍移住者
渡航手帳第一号ハ但書ヲ追加候義別紙申付
五部ノ通布達候旨此段更ニ上申候也

明治十二年六月廿日

副長官黒田清隆

太政大臣三条实美殿